

尚綱総研論集の刊行に当たって

尚綱学院大学総合人間科学研究所所長
尚綱学院大学学長

合 田 隆 史

尚綱学院大学総合人間科学研究所は、本学における教育改善及び社会貢献に関する研究の推進を目的として、本学前学長佐々木公明氏の発案により、2012年4月に設置された。それ以来、公募型学内外研究支援、共同研究プロジェクトによる研究・調査活動、研究会、講演会の開催等の活動を行ってきた。その後、2016年には本学における研究全般の統括が目的として追加され、昨年2月には、布木和夫本学大学院総合人間科学研究科研究科長を中心とする意欲的な学会代議員の先生方及び教育研究支援課の皆さんの尽力により、尚綱学院大学総合人間科学会が創設された。これにより、本学ならではの研究課題に関して、研究成果の身近な発表の場と会員相互の切磋琢磨の機会が提供されることとなった。

これらに加え、このたび、研究所として独自の論文集の編纂刊行を開始することとした。本学の教員の研究論文集としては既に学内紀要があるが、大学教育の改善や社会貢献という本研究所の目的を十全に達成する上では、本格的な学術論文のみならず、学外者を含め様々な立場にある意欲ある研究者・実務家、実践者からの様々な提案や実践報告、それらに対する批判的・建設的な批評などが活発に行われることは極めて有意義であると考えられる。それはまた、様々な分野の研究者が一つのキャンパスに集う本学の強みを最大限に生かすことにつながるに違いない。

さて、記念すべきその第1号として、現在取り組んでいる本学の改革でも大きな柱として位置づけられようとしている教員養成に関して、日頃の特色ある取組みや研究の成果を学内で共有することを目的に、特集を組むこととした。幸い、学務多忙な中8編の力作の投稿を得ることができた。本学における教員養成の充実、向上のみならず、これを契機に分野を超えた研究交流が一層活発に行われ、本学の教育研究の活性化の一助となることを心より祈念するものである。

今後さらに、大学職員や大学院学生、尚綱学院中・高等学校、附属幼稚園の教職員、エクステンション・センター関係者を含め、学内外を問わず多様な分野の専門家の参画を得て、この論集が発展的に継続されていくことを期待するものである。

2018年1月